

まちなか・中央エリア整備計画（素案）に対する意見 （パブリックコメント、自治会・商店街との意見交換、経済界への意見照会）

【都市整備目標関係】

- ・個々のエリアの計画が、基本計画にある地域の目指すべき姿や進むべき方向に向けて、どのようにつながっていくのかを示すランドデザイン（戦略）が見えない。[経]
- ・4つのエリアに分けた議論が進められているが、これらのエリアを関連付け、バランスが取れたランドデザインが必要である。まちは総合的に機能するものでなければならず、それぞれで議論が終わらないようにしてほしい。[経]
- ・シンボル軸沿いにマンションの建設が進んでいる状況であり、早急に具体的な整備計画の立案が望まれる。[経]
- ・県民所得向上が重要課題として挙げられ、数値目標もある中で、本計画でも具体的な目標の設定が必要である。交流人口の増加目標、重点エリアの居住者及び昼間人口の数値予測が示されないと、整備計画の妥当性や施設の適正規模が判断できない。[経]
- ・まちなかエリア・中央エリアの両整備計画においては、将来目標が達成できる妥当な案かどうか疑問を感じるので、交流人口・定住人口等の具体的な数値目標を設定し、その実現に向けた対策を策定すべきである。[経]
- ・交流人口の拡大には、長崎が住みやすいということが大きな要素であり、基本的には居住者が気持ち良く生活できる街を目指すべきである。定住人口減少に伴う都市のコンパクト化と交流人口の増加による活性化が調和した観光都市づくりを図ってほしい。[経]
- ・人口減少下において交流人口拡大を目指すことは重要であるが、一方で、定住者の生活向上につながるまちづくりの検討も必要である。[経]
- ・都市再生総合整備事業をベースとした計画素案になっているが、都市再生特別措置法の改正案（コンパクトシティづくりを進めるため、商業施設や医療・福祉施設等の中心部への移転を促進する内容）を活用したまちづくりにシフトチェンジし、根本から考え直す必要があるのではないか。[P]
- ・現状がこうだからというような手堅いことではなく、もっと夢とロマンを持って、型破りな発想と物事を大局から捉える視点が必要ではないか。浜町のアーケードを壊して、天神の三越みたいな百貨店を作ろうというくらいの発想が必要である。[P]
- ・もう少し夢のある計画としてほしい。長崎のイメージを変えるくらいの考えでやってほしい。[自]

【基本計画関係】

- ・長崎市の平和観は被爆者の視点に偏ったものであり、平和都市の定義も明確ではないので、整備方針は「被爆都市として、世界に核廃絶を発信する」とするのが適切ではないか。[P]

- ・市民・県民が環境美化意識を高めることは必要であるが、それ以前に自治体が意識を高める必要がある。観光客の目に付く国道沿いでも、午後までゴミが集積所に山積みされていることがあり、迅速に回収できるよう工夫すべきである。[P]

【公共交通関係】

- ・個々のエリアをつなぐ交通ネットワークについて、観光客の回遊性と居住者の利便性に資する具体案を早急に検討すべきである。各玄関口は明確になりつつあるが、その先のネットワークが見えてこない、各エリアの施設計画が生きたものにならない。[経]
- ・公共交通ネットワークの整備については、観光客の受け入れ対応はもとより、市民生活にも密接に関係する重要な課題なので、具体案を早急に検討すべきである。[経]
- ・公共交通機関のシステムの充実・強化とは、具体的に何を指すのか。また、パークアンドライドやモビリティマネジメントは本当に実現可能か。[P]
- ・早急に交通事業者と一体となった具体的な計画策定を望む。特に、出島・県庁舎跡地への観光バス、空港リムジンバス等の中長距離バスの乗り入れは、この地区の活性化にとって肝心の要素である。[経]
- ・旅行スタイルが個人や小グループ中心となっている現在は、広域から集客した人々が市内各エリアへスムーズに移動できる二次アクセスの充実が大切である。快適な乗り換えを実現するため、まちの中心部に近く、高速バスや市内バスの接続が可能な県庁舎跡地に、ハブ機能を持ったターミナル（大型停留所）の整備を進めてほしい。[P]
- ・電停の混雑や危険性が改善されない一方、路線バスは空席が目立つので、公共交通機関のシステムの充実・強化を図るため、土地勘のない観光客でもバスを迷わず利用できるよう、乗り場への案内表示の改善や乗り場の整理統合、路線の明瞭化と路線図の設置、車体への表示方法の改善などの対策を講じるべきである。[P]
- ・馬町交差点の県道側バス停（親和銀行前）が大変混んでいるので、バスベイを設置して車も人もスムーズに通行できるようにしてほしい。[商、 P]
- ・済生会病院の移転で新大工の人通りが減っているので、上長崎地区ふれあいセンター前に西山へ抜けるバスを通して、人の流れを生み出すべきである。[自]
- ・伊勢宮から中通りを通して市民会館に抜ける道路にバスを通してほしい。[自]
- ・バスやタクシーよりも電車の方が親しみやすいので、抜本的に路線の見直しを行って欲しい。市役所や県庁を經由するような新路線は作れないか。[自]
- ・築町電停（特に長崎駅方面向き）は、車道・歩道を含めた改修によって、スペースを広げる必要がある。[P]
- ・新大工町電停のバリアフリー化については、自治会の中でも、通学児童の安全のため歩道橋を残すべきという意見と、高齢者等の利便性を確保するため歩道橋を撤去すべきという2つの意見がある。[自]

【自動車交通関係】

- ・中島川左岸沿いの道路や寺町通りから中通りへ下る道路では、一旦停止をしない車が多く事故が多発している。道路整備とともに交通事故防止策を前面に打ち出し、短期施策として実施してほしい。[P]
- ・西坂公園を車で訪れる観光客のために、どの道路が一方通行なのかわかりやすく表示すべき。[自]
- ・出島の県酒販ビル横の道路は、なぜ歩道と車道をフラットにしなかったのか。停車車両があると追い越しができない。[自]

【歩行者動線関係】

- ・徒歩による快適な回遊を実現するには、道路整備だけでなく、道路に面した建物を整備し連続性を持たせることが必要となる。[P]
- ・中心部に廃墟（グランドホテル跡等）があり、これらが人の流れを悪くしている。県庁跡地や市役所跡地などと合わせて、活用策を十分検討しないといけない。その際、観光客を中心に人の流れを作るのではなく、住吉地区のように市民が歩くようにすべきである。[自]
- ・まちなかにトイレを増設するとともに、エリア全体の観光案内版（現在地表示やトイレ位置表示を含む）や観光スポットへの案内表示を充実させてほしい。[P]
- ・周辺の案内板（名所の地図等）を設置してほしい。[商]
- ・思案橋入口から十善会病院に至る道を整備すると、人の流れももっと良くなると思う。児童の通学路にもなっているが、倒壊しそうな建物もあり非常に危険である。夜に出没する呼び込みや客引きなどは、長崎のイメージに合わない。[自]
- ・賑町中央公園から周辺への回遊を高めるような取り組みを検討してほしい。[商]
- ・出島から江戸町～築町～まちなか軸へのつながりの強化が重要である。[商]
- ・中町・筑後町の動線軸の一つ上の通りは、西坂に抜ける車両が多く危険である。[自]
- ・歴史文化博物館から中島川への歩道整備は具体的な計画があるのか。[P]
- ・西坂公園の階段上り口の案内サインがわかりにくく、公園内の説明看板の文字も薄くて見えにくいので改善してほしい。[自]

【土地利用・景観関係】

- ・市役所通りはマンション街になりつつあり、県庁や市役所が移転すればさらに空洞化してしまう。[自]
- ・国道34号の終点高台に県庁があるのが理想的だと思うが、移転するのは残念である。県庁移転により、無機質で潤いのない空間が一層広がると考えられる。[P]
- ・市役所通りにマンションが増えているため、日常生活のための市場が不足するのではないか。[自]

- ・夢彩都やアミュプラザに人が流れており、銅座もガラガラになっている。[自]
- ・マンションの高さ規制が必要である。[自]
- ・国道34号の緑地帯が雑木園と化している。地元で貸してもらい、自治会や婦人会・老人会等が植栽すれば、清々しい道路空間になる。[P]

【拠点施設関係】

- ・県庁と市役所は、なぜ高い場所から低い場所へ移転するのか。移転に伴い、バスの経路も変更しなければならなくなる。[自]
- ・県庁舎の移転に対し江戸町・築町はまだ反対といているが、仕方がないことだと思う。鹿児島天文館も新幹線開業で賑わいを取り戻した。駅の近くに賑わいがあるのは良いことだ。[自]
- ・国道34号のメインストリート沿線を活性化するためには、県庁舎跡地をどう活用するかにかかっているが、浜町商店街への人の流れの増加にも配慮してほしい。[P]
- ・鹿児島県庁が移転した跡にできた施設（かごしま県民交流センター）はあまり利用されていない。[自]
- ・県庁周辺には幕末からの歴史の跡があるので、活かすべきである。[商]
- ・出島と県庁舎跡地は連携して整備する必要がある。また、県庁舎跡地のホールについては、長崎市が計画している公会堂の後継施設とも調整が必要である。[経]
- ・出島と県庁一帯に大型遊戯施設を造ってはどうか。中島川をカヌーで遊べるようにすれば、人が集まるようになるのではないか。[自]
- ・県警跡地には長崎警察署の移転を希望する。[P]
- ・公会堂に代わる施設の整備を検討する際、既存の市民会館の機能を付加した建物を検討し、老朽化した市民会館は取り壊した方が良い。市民会館の跡地にシンボルとなる広場を整備すれば、諏訪神社・新大工町商店街・中島川沿いを散策する観光客や市民の回遊性向上に寄与し、憩いの広場ともなるのではないか。また団体観光客の貸切バス乗降場所、イベント開催など利用は多岐に考えられ、利用価値は高いと思われる。[経]
- ・まちの空洞化が進み、くんちに参加するのは踊り町以外の人ばかりで、このままではくんちの存続は難しいのではないかと心配である。公会堂を取り壊すのであれば、くんちを披露できる文化施設や広場を整備すべきである。[P]
- ・市役所跡地に公会堂ができる予定であるが、敷地内に「おくんち広場」をつくってほしい。[P]
- ・県立図書館が県都に存在しない唯一の県としてPRし、市立第二図書館を設置するとともに、市民会館や公民館に図書・新聞を配置して、文化度を高めてほしい。[P]
- ・空き家・空きスペースを活用して、留学生向けの交流広場（交流スペース・語学の学びの場所及び情報発信の場所等）を無料で提供してほしい。[P]
- ・新大工地区に広場を設置してほしい。[商、P]

【商業振興関係】

- ・浜町には駐車場が必要である。[自]
- ・メルカ築町を有効活用して欲しい。[商]
- ・新大工地区では玉屋デパートや新大工市場の動向が将来を大きく左右するが、その点をどう考えているのか。[P]
- ・玉屋の再開発に対して、行政はどうやって事業者を支援していくのか。[自]

【観光誘客関係】

- ・長崎に人を呼び込むような上手な情報発信が必要である。[商]
- ・市内の留学生に対して、長崎市内に住んで良かったこと、不便に思うこと、困っていること、どのような受入体制があればいいかなどについてアンケートを実施し、留学生生活の環境整備に役立ててほしい。環境が整えば、留学生が情報発信源となって外国人観光客の集客につながると考える。[P]
- ・もっと長崎の名物があった方が良いので、食に力を入れる必要がある。[商]
- ・福岡を訪れる観光客を長崎に呼び込むため、県出身のアーティストに協力してもらってはどうか。長崎市ホームページでお勧めの観光地や思い出の地などを紹介したり、イベントへの参加、モニュメントの制作、コンサートの開催等により、観光客の誘致を行ってはどうか。[P]
- ・築町地区に観光インフォメーションセンターを設置してほしい。[商]
- ・亀山社中やシーボルト記念館を活用した活性化策を計画に入れてほしい。[自]
- ・ランタンフェスティバルのときに、銅座地区は違った色のイルミネーションを施して、独自のライトアップを行うことも考えている。[自]
- ・クルーズ船の増加に伴って外国人が増えることに対し、地域の人々は治安面の不安を抱いているようだ。[自]

【手続き関係】

- ・学識経験者も大事であるが、まちづくりには、私利私欲がなく、長崎を良くしたい、元気にしたいという気持ちで溢れている人たちの意見をどんどん取り入れていくべきである。[P]
- ・両整備計画策定の暁には、広くその内容の周知を図ってほしい。[経]
- ・計画を作っても土地所有者の理解と協力が必要である。[自]

【その他】

- ・佐古小と仁田小の統廃合については、両校区の連合自治会の意向もあるので、簡単に片方へ移すという訳にはいかない。浪の平小の跡地も活用されないままである。[自]

【別エリア関係】

- ・夜間の長崎港内は、市街地の賑やかな灯りに対して真っ暗であり、特に長崎出島ワープのレストランなどからの眺めは寂しいものがあるので、「長崎港内の照明を増やすことによる景観の改善」を追及してほしい。[経]
- ・長崎市の交通が来訪者には複雑でわかりにくいいため、長崎駅を起点に大波止～松が枝ターミナル～旧香港上海銀行まで動く歩道を設置してはどうか。[P]
- ・夢彩都前の道路（浦上川線）は、松が枝まで延伸すべきである。[自]
- ・市営松が枝第二駐車場付近に路面電車の停車スペースを広く設置すれば、単線で増発困難な現状が解決でき、イベント時やクルーズ船の入港時の対応もスムーズになる。[P]
- ・観光客に好印象を与えるため、松が枝国際ターミナル発着のバスを最新型にそろえてほしい。[P]
- ・母国の国旗を異国で見ることができると心がなごむので、松が枝国際ターミナルに世界地図のモニュメントを設置し、市内在住外国人の国旗を掲揚するか、タイルを貼ってはどうか。[P]
- ・松が枝国際ターミナルに長崎発の工業技術製品の紹介スペースを設け、長崎の技術力の発信や商談の場として活用してほしい。[P]
- ・長崎駅の近くに、Vファーレンのホームグラウンドや県立図書館を建設してほしい。[P]
- ・県庁の移転予定地に「海に見えるスタジアム」を建設し、Vファーレン長崎を中心としたスポーツ振興を実施すべき。市内の人は電車で、市外・県外の方はJRでアクセスできる場所は他にない。[P]
- ・長崎駅から稲佐山にロープウェイで直接行けるようにしてはどうか。[P]

意見の区分

[P]：パブリックコメントで寄せられたもの

[自]：関係自治会との意見交換で発言があったもの

[商]：関係商店街との意見交換で発言があったもの

[経]：経済団体への意見照会で提出されたもの